

# 府縣制中改正法律案外五件特別委員會議事速記第一號

## 付託議案

北海道會法中改正法律案  
北海道地方費法中改正法律案  
市制中改正法律案  
明治四十年法律第二十一號中改正法律案  
大正九年法律第十二號中改正法律案

### 委員氏名

委員長 大久保 利武君  
副委員長 男爵南岩倉 具威君  
侯爵德川 團順君  
子爵藤谷 爲寬君  
子爵今城 定政君  
荒川 義太郎君  
男爵平野 長祥君  
笠井 信一君  
谷森 眞男君

大正十一年三月二十日(月曜日)午前十時五十五分開會

○委員長(大久保利武君) ソレデハ是カラ開會イタシマス  
ルガ今ハ樺太ニ關係イタシマス案ガ兩件提出ニナツテ居  
リマスガ、明治四十年法律第二十一號中改正法律案、大正九  
年法律第十二號中改正法律案、此兩案ガ未ダ説明ヲ伺フテ居  
リマセヌカラシテ、之ヲ先キニ政府委員ノ御説明ヲ煩ハス  
ト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○政府委員(永井金次郎君) 本案ハ極メテ簡單ナ法律デゴ  
ザイマス、樺太ニ於キマシテノ現今ノ租税ノ種類ハ戶數割  
税、營業税、雜種税、所得税、市街宅地税、酒造税、醬油税ノ七  
項目アツクデアリマス、此中戶數割税ト雜種税ヲ町村ニ移  
シタイト云フ考ナノデゴザイマス、即チ此現行法ヨリ戶數  
割税ト雜種税ヲ削除シタイト云フノデゴザイマス、其理由  
ハ樺太ニ於キマシテハ本年ノ四月一日ヨリ町村制ヲ施行ス  
ルコトニナリマスノデアリマス、町村制ヲ施行スルニ當リ  
マシテハ町村ノ財源ト致シマシテ適當ノモノガゴザイマセ  
ヌノデ、今日迄樺太ニ施行イタシテ居リマスル戶數割税ト  
雜種税ハ是モ町村トシテ適當ナルモノト認メマスノデ、之  
ヲ町村税ト致シタイノデゴザイマス、從ヒマシテ樺太廳ノ  
税目カラ此二種目ヲ削除シタイト云フノデゴザイマス、極  
メテ簡單デゴザイマスガ、ドウゾ御協賛ヲ願ヒマス

○委員長(大久保利武君) 御質問ガゴザイマセヌケレバ次  
ノ案ノ説明モ伺フタラ如何デス、御質問ハ如何デセウ

○男爵南岩倉具威君 金高ヲテヨット伺フテ置キマス

○政府委員(永井金次郎君) 戶數割ニ於キマシテ九万五千  
九百九十一圓デゴザイマス、雜種税ニ於キマシテ十四万二  
千五百七十九圓、合セマシテ二十三万八千五百七十圓ト云  
フ總額ニナリマス

○男爵南岩倉具威君 モウ一ツ伺ヒマス、此本法施行前賦  
課シタル戶數割及雜種税ニ付キマシテ、尙ホ從前ノ例ニ依  
ルト云フノハドウ云フコトニナリマス、其關係ハドウ云フ  
コトニナリマス

○政府委員(永井金次郎君) 御答ヘ致シマスガ、此本法ノ  
施行スル前ノ戶數割及雜種税ノ賦課イタシテ居リマス、其  
賦課イタシテ居リマスルノハ、滯納トカ等ニナツテ居リマス  
ルニ付キマシテモ、從前ノ例ニ依テ處分イタシテ居リマス、  
今日カラ施行前ニ賦課イタシタル戶數割及賦課税ハ從前ノ例  
即チ一旦賦課シテ居リマシテモ、マダ滯納ニナリマシタリ  
致スモノニ付テハ從前ノ規則ニ依リマシテ處分シテ行ク、  
之ダケノコトデアリマス

○谷森眞男君 只今從前ノ例ニ依テ處分シテ行クト云フ  
コトハ地方税ニ移サヌデ、矢張前ノ地方税ニ移ス前ニ取ツタ  
モノデアルカラ、地方税ニ移サヌト云フコトデアリマス

○政府委員(永井金次郎君) 左様デアリマス、施行以前ニ  
致シタルデアリマスガ、地方税ニ移シマセヌデ矢張國稅ト  
シテ徵收シテ行クノデアリマス、賦課シタルモノダケハ矢張  
從前ノ者ニナツテ居リマス、即チ國稅トシテ取ツテ居リマス

○荒川義太郎君 私ハマダ之ヲ讀ンデ居リマセヌデ、伺ヒ  
マスノハ甚ダナンデアリマスガ、是ハ今度戶數割地方税ニ、  
地方税ニ移スト云フコトニナリマシタ、此四十年法律第二  
十一號カラ除クコトニナリマセウカ、其外町村デ此ニツカ  
ラヤルト云フコトニ、サウデアリマセウカ

○政府委員(永井金次郎君) 只今御問ノ二ツダケ町村ニ移  
シマス、ソレダケ、國稅カラ除キ、町村税ト致シマス、町村税  
ハ其外ニ國稅附加税ト云フモノガアリマス

○谷森眞男君 チヨット御尋ネンテ見タイノデアリマス、之  
迄布カレタ中デ所得稅ダケ、營業税、地方税、醬油税ト云フ  
ヤウノモノニ於テ、凡ソドレ位ノ稅額ガ徵收ニナツテ居タン  
デアリマスカ、只今ナンノ方ハ町村(移サレル方)ノ分ニ付  
テ御尋ネンマシタガ、殘ル方ノ分ハドレ位ナ收入ガアルノ  
デアリマスカ、ソレカラ此中デ市街宅地税ト云フヤウナモノ  
ノハドンナモノデアリマスカ、片方ニ於テサウ澤山ノモノ

ガアラウト思ヒマセヌガ、凡ソ分リマスノハ……

○政府委員(永井金次郎君) 地稅ニ付キマシテハ僅カ七千  
六十七圓デアリマス、所得稅四十六万三千四百九十六圓、營  
業税ニ於キマシテ三十九万二千七百七十七圓、醬油税ニ於キマ  
シテ千七百七十七圓デアリマシテ、地稅ニ稍、市街地ノ方面ニ課  
シテ居リマス、市街地ノ方面ダケニ稅ヲ課シテ居ル、一級二  
級三級ト云フヤウニ等級ヲ分ケマシテ、等級ニ應ジテ、高ニ  
ヨリマシテ稅ヲ課シテ居リマス

○谷森眞男君 サウシマスルト是等町村稅ヲ施行スルニ付  
テノ爲ノ戶數割ト雜種稅ヲ地方税ニ移スト云フコトニナツ  
テ、ソレダケデ何デスカ、町村稅ヲ施行スルニ、町村ハ差支  
ナイコトニナリマスノデアリマスガ、又外ニ何カ町村稅ノ  
取ルノガアルノデアリマスカ

○政府委員(永井金次郎君) 只今ノ御尋ネデアリマスガ、  
ソレハアルヤウデス、戶數割及雜種稅ダケハ町村ノ維持  
ヲスルコトガ出來ナイ、國稅ノ附加稅ヲ致シテ參リマス、從  
テ市街宅地税トカ所得稅ト云フヤウナモノニ付テハ、相當  
ノ附加稅ヲ課スルコトニナリマス、ソレデ町村ニ於キマシ  
テ何カ出來ルダケ財源ガアリマスレバ、是ハ特別稅トシテ  
徵收ヲ許可スルコトニナツテ居リマス、要スルニ二種ノ稅力  
ダケハ町村ノ維持ガ出來マセヌカラ、其他ノ方法ニ依テ  
財源ヲ發見シテ町村ノ財源ヲ充實サセタイト云フ考デアリ  
マス

○谷森眞男君 サウ致シマスルト、此ノ所得稅、營業稅、酒  
造稅、醬油稅ト云フヤウノモノニ付テ、國稅ノ方ニ付テ地方  
ノ附加稅ヲ取ルト云フコトハ、内地ト同ジヤウニナツテ居ル  
ノデ、唯附加方法ガ違フデセウケレドモ、ソレハ内地ト同ジ  
コトニナル、其外ニハ稅源ニナルモノガアレバ賦課スル、斯  
ウ云フコトニナル譯デアリマスカ

○政府委員(永井金次郎君) 御問ヒノ通りデアリマス、尤  
モ酒稅ハ間接稅デアリマスカラ、附加稅ハ課シマセヌ、内地  
ト同ジコトデアリマス

○委員長(大久保利武君) 樺太廳ノ收入租稅ノ財源ノ外  
ニ、山林ノ收入トカ水産ト醬油トカ、サウ云フモノハドウ云  
フ風ニナツテ居リマス

○政府委員(永井金次郎君) 樺太ノ收入租稅ノ外ニ、官有  
財產カラ出マス郵便デアルトカ、電信デアルトカ、或ハ鐵道  
ノ方カラ參リマスシ、其他御話ノ通り森林收入モアリマス、  
漁業稅モアリマスガ、主ナルモノガ森林ノ收入ガ多イ、其次

ハ官業カラ生ズル郵便電信、鐵道收入等ノ收入ガアリマス  
○委員長(大久保利武君) 町村ニハサウ云フ山林ヲ持ッテ  
居ルモノ、或ハ漁業ノ方ノ收入ナルモノトカ、町村ニハナイ  
ノデアリマスカ

○政府委員(永井金次郎君) 御尋ネノ通り町村ニハマダ其  
外ニ財源ハアリマセズ、出來ル限リ基本財産ヲ殖ヤシマン  
テ、基本財産カラ生ズル收入ヲ補ヒタイト、基本財産ノ調査  
中デアアルノデアリマス、今日マデ町村ニハ何等收入ハアリ  
マセズ

○委員長(大久保利武君) 其外ニ人口ノ増シ方ハド云フコ  
トニナッテ居リマス  
○政府委員(永井金次郎君) 人口ハ極メテ良好ニ進ンデ居  
ルヤウニ思ヒマス、現在ハ約十一万人ゴザイマシテ、總テノ  
方面ヲ交ゼマスルト、約一万人位人口ガ移住イタシテ居ル  
ヤウデアリマス

○谷森眞男君 此移住致シテ居ル者ノ營業ノ主ナルモノハ  
山林、水産、又農業ト云フモノハ、ソレ程行キマスモイと思  
ヒマスガ  
○政府委員(男爵四條隆英君) 御答ヲ致シマスガ、樺太ノ  
此職業ニ於キマシテハ農業漁業者ガ多ウゴザイマス、商業  
ノ方モゴザイマス、併ナガラ一番多クハ農業デゴザイマ  
ス、工業ノ方モ若干ゴザイマスガ、先ヅ大體ニ於テ樺太ニ於  
テ無職ニ居リマスモノハ殆ドナイヤウデアリマス

○谷森眞男君 只今ノ農業ト言ハレル中ニ、山林ナドハ這  
入ッテ居リマセヌノデアリマセヌカ、ソレハ別デアリマセヌ  
カ  
○政府委員(永井金次郎君) 山林ノ副業ト致シマシテハ山  
林伐採、農業ナリ漁業ナリニ全部這入ッテ居ル、冬ノ副業ハ  
ハ山林伐採ハ重ナル事業ニナッテ居リマス

○荒川義太郎君 チョット御尋シタイノデスガ、二種ノ稅ヲ  
移シテ行ケバ、其他ノ特別稅ナリヲ起シテ行ケバ、樺太ノ町  
村ハ優良ナル町村ガ出來ルト云フ御見込ガアリマスカ、如  
何デアリマスカ  
○政府委員(永井金次郎君) 樺太ノ町村制ハ多年希望致シ  
テ居リマスノデアリマスガ、漸ク昨年御協贊ヲ得マシテ來  
年四月カラ施行スル狀況ニナッテ居リマスノデ、町村トシテ  
殆ド大體ノ基礎ヲ爲シテ居リマスカラ、十分發達イタス見  
込デゴザイマス

○委員長(大久保利武君) 如何デゴザイマスカ、御質問ハ  
……御質疑ガナケレバ、此次ノ法律第十二號中改正法律案  
ノ說明ヲ、政府當局者ニ求メタイト思ヒマスガ如何デアリ  
マスカ、……ソレデハ大正九年法律第十二號中改正法律案、  
此說明ヲ政府委員ニ求メマス

○政府委員(松本重威君) 大正九年法律第十二號ト申シマ  
スル法律ハ、大體内地ト殖民地トノ間ニ於キマシテ、所得稅  
ノ重課稅ヲ避クルコトヲ趣意トシテ居ル法律案デアリマ  
ス、從來樺太ニ於ケル第一種ノ所得稅即チ法人ノ所得稅即  
チ法人ノ所得稅モゴザイマシタケレドモ、第二種ノ第三種  
ノ所得稅ヲ課稅シテ居リマセズ、然レ大正十二年度カラ樺  
太ニ於キマシテ第二種ノ所得稅モ第三種ノ所得稅モ施行ス  
ルコトニ内定シテ居リマスカラ、從ヒマシテ此第二種第三  
種ニ關シマシテ内地ト樺太ノ間ノ所得稅ノ重複課稅ヲ避  
ケル事ニナリマスノデ、ソレデ大正九年ノ法律第十二號改  
正ノ案ガ起ッテ居ル次第デゴザイマス、ソレデ條文ニ付テ申  
上ゲマスルト、第四條第五條、第六條中ニアリマス所ノ「臺  
灣」ト云フ文字ヲ、即チ「臺灣又ハ樺太」ト斯ウ改メルニ過ギ  
ナイ次第デアリマス、併シ御參考ノ爲ニ各條毎ニ大體ノ說  
明ヲ申上ゲマスルト云フト、第四條ニ於キマシテハ此ノ日  
本ノ國籍ヲ有シテ居ラナイ人、即チ外國人、其外國人ノ樺太  
ナラ樺太ニアリマス所ノ水産トカ狩獵トカ云フ職業カラ生  
ズル收入ニ付キマシテハ、從來ノ例カラ申シマスレバ、所得  
稅ハ課セナイコトニナッテ居リマシタガ、併ナガラ今回樺太  
所得稅ヲ施行スルコトニナリマシタカラ、矢張り樺太ニ於  
ケル水産、狩獵、及職業ヨリ生ズル所得ニモ、所得稅ヲ課ス  
ルト云フコトガ起ッテ來ル次第デアリマス、ソレデ所得稅法  
ノ第十八條第六條ノ規程ヲ適用スルト云フノデ、所得稅ノ  
第十八條第六條ニ依リ是レ是レノ所得ニハ所得稅ヲ課セ  
ズトアリマスガ、今度ハ適用シテ所得稅ヲ課スルコトニナッ  
テ居リマスカラ是レ是レノ收入ニハ所得稅ヲ課スルト云フ改  
正方起ッテ譯デアリマス、ソレカラ第五條ノ方ハ、一年以上  
居住ヲ有ッテ居リマス所ノ個人ノ、第一種ノ中及ビ第三條ノ  
所得ニ付テハ、是ハ所得稅法ニ依ル所得稅ヲ課セズト書イ  
テアリマス、其意味ハ内地ニ於テ所得稅ヲ課セナイ、内地ノ  
所得稅法ノ所得ハ課セナイト云フ斯ウ云フ意味デアリマ  
ス、其裏カラ申シマスレバ、樺太ニ住所ヲ持ッテ居リ、一年  
以上居住ラシテ居ルモノニハ、第二種第三種ノ所得稅ニ付  
テハ、樺太ノ方デ所得稅ヲ課スル、斯ウ云フコトニナリマス、  
ソレカラ第六條ノ方ガ矢張り此方ハ第六條ノ方デアリマス  
ルト、内地ノ方ニ住所ヲ持ッテ居リ、或ハ一年以上ノ居住ヲ  
持ッテ居ルモノノ所得デ、是ハ樺太ノ方デ今度第二種ノ所得  
トシテ所得稅ヲ課スルニ時ニハ、樺太ノ方デ第一種ノ所得  
トシテ所得稅ヲ課スルニ付テハ、所得稅法ニ依ルト云フコ  
トデ、内地ノ所得稅法ニ依ル所得稅ハ課セナイ、斯ウ云フ  
風ニ改正スル必要ガ起ッタノデアリマス、先ヅ大體左様  
ナ次第デアリマス

○荒川義太郎君 一寸此點ハ、私ハ外國人デ樺太ニ居ル者  
デ、所得稅ヲ課セラル、ト云フヤウナ者ハ、第一ニ外國人ハ  
ドシナ人デゴザイマスカ、數ト云フコトモ、外國人ノ國籍  
ヲ、ソレ等ヲ承ッテ置キタイ、第二ニハ所得稅ヲソレ等ノ者  
ニ課シテ居ル者ハドノ位アリマスカ、ソレヲ大體承リタイ  
ノデアリマス

○政府委員(小橋一太君) 目下居リマスル外國人ハ悉ク殘  
留露人デアリマス、其中人員ハ百名バカリト存ジテ居リマ  
ス、尙ホ其中デ所得稅ヲ課スル程度ノ者ハ「ナカサド」ト云  
フ所ニ居リマスル者其外一兩名デゴザイマス、別ニ取立テ  
テ申ス程ノ資産ヲ有ツモノハゴザイマセズ

○谷森眞男君 只今一寸所得稅法ヲ調ベテ居リマセヌガ、  
此第四條ノ今度改正ニナルノハ、詰リ臺灣又ハ樺太ト云フ  
ノデ、臺灣ト樺太ト同ジヤウニナルノデアリマスルカ、ソレ  
ニ付テ國籍ヲ有セザル者ハ資産營業又ハ職業ヨリ生ズル所  
得ニ付テハ、所得稅法ノ第十八條第六號ノ規定ヲ適用セズ  
ト云フノデ、此ノ所得稅法ヲ施行スルト云フコトニハナル  
ガ、稅法、所得稅法ノ第十八條第六號ノ規定ヲ適用シナイト  
云フ、斯ウ云フコトニナルデアアラウト思ヒマス、サウナルト  
是ガドウ云フ風ニナルノデゴザイマスカ、マダ所得稅法ヲ  
能ク見テ居リマセヌカラ、……如何デゴザイマスカ

○政府委員(松本重威君) 此ノ所得稅法第十八條第六號ノ  
規定デ申シマスモノハ、日本ノ國籍ヲ持ッテ居ラナイ人、即  
チ外國人ガ外國ニ於テ得ル所ノ所得ニハ所得稅ヲ課セナイ  
ト云フ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、大變面倒ナコトニ  
ナリマスガ、之ヲ茲ニ申上ゲマスルト云フト、外國人ト雖モ内  
地ニ於テ得ル所得ニ付テハ、所得稅ヲ課スルコトハ申ス迄  
モナイコトデアリマス、併ナガラ、イヤサウデハナイ、モウ  
少シ申上ゲマス、内地デアレバ内地ニ於テ得ル所得ハ勿論  
外國ヨリ、外國ニ於テ得ル所ノ所得ニ對シテモ所得稅ヲ課  
スル、例ヘバ印度デ護護ノ栽培ヲヤッテ、之ガ大變所得ガア  
ルト云フコトニナリマスレバ、矢張り日本ノ所得稅法ヲ適用  
シマシテ、サウシテ其ノ外國ヨリ生ズル所ノ所得ニモ所得  
稅ハ課シテ居ルノデアリマス、併ナガラ今申上ゲル通り内  
地ニ住ンデ居ル外國人デ、内地ヨリ生ズル所得ナラハ所得  
稅ヲ課スルケレドモ、外國人ガ外國ニ於テ得ル所得ニ付テ  
ハ、所得稅ヲ課スル必要ハアルマイト思ヒマス、一例ヲ申セ  
バ英吉利ノ宣教師ガ日本ニ居ル、而シテ其宣教師ガ英吉利  
ニ如ク持ッテ居ルトカ、或ハ工場ヲ持ッテ居ルトカシテ、ソ  
コデ所得ヲ生ズルカラト云フテ、日本ノ所得稅法ヲ適用シ  
テ、ソレ迄課スルト云フコトハ無理デアル、斯ウ云フ考ヲ以  
チマシテ、外國人ノ外國ニ於ケル所得ニ對シテハ、所得稅ヲ  
課セナイト云フコトヲ、此第十八條ノ六條ニ規定シテ居ル  
ノデゴザイマス、而シテ其外國ト申シマスルノハ、所得稅法

○政府委員(松本重威君) 大正九年法律第十二號ト申シマ  
スル法律ハ、大體内地ト殖民地トノ間ニ於キマシテ、所得稅  
ノ重課稅ヲ避クルコトヲ趣意トシテ居ル法律案デアリマ  
ス、從來樺太ニ於ケル第一種ノ所得稅即チ法人ノ所得稅即  
チ法人ノ所得稅モゴザイマシタケレドモ、第二種ノ第三種  
ノ所得稅ヲ課稅シテ居リマセズ、然レ大正十二年度カラ樺  
太ニ於キマシテ第二種ノ所得稅モ第三種ノ所得稅モ施行ス  
ルコトニ内定シテ居リマスカラ、從ヒマシテ此第二種第三  
種ニ關シマシテ内地ト樺太ノ間ノ所得稅ノ重複課稅ヲ避  
ケル事ニナリマスノデ、ソレデ大正九年ノ法律第十二號改  
正ノ案ガ起ッテ居ル次第デゴザイマス、ソレデ條文ニ付テ申  
上ゲマスルト、第四條第五條、第六條中ニアリマス所ノ「臺  
灣」ト云フ文字ヲ、即チ「臺灣又ハ樺太」ト斯ウ改メルニ過ギ  
ナイ次第デアリマス、併シ御參考ノ爲ニ各條毎ニ大體ノ說  
明ヲ申上ゲマスルト云フト、第四條ニ於キマシテハ此ノ日  
本ノ國籍ヲ有シテ居ラナイ人、即チ外國人、其外國人ノ樺太  
ナラ樺太ニアリマス所ノ水産トカ狩獵トカ云フ職業カラ生  
ズル收入ニ付キマシテハ、從來ノ例カラ申シマスレバ、所得  
稅ハ課セナイコトニナッテ居リマシタガ、併ナガラ今回樺太  
所得稅ヲ施行スルコトニナリマシタカラ、矢張り樺太ニ於  
ケル水産、狩獵、及職業ヨリ生ズル所得ニモ、所得稅ヲ課ス  
ルト云フコトガ起ッテ來ル次第デアリマス、ソレデ所得稅法  
ノ第十八條第六條ノ規程ヲ適用スルト云フノデ、所得稅ノ  
第十八條第六條ニ依リ是レ是レノ所得ニハ所得稅ヲ課セ  
ズトアリマスガ、今度ハ適用シテ所得稅ヲ課スルコトニナッ  
テ居リマスカラ是レ是レノ收入ニハ所得稅ヲ課スルト云フ改  
正方起ッテ譯デアリマス、ソレカラ第五條ノ方ハ、一年以上  
居住ヲ有ッテ居リマス所ノ個人ノ、第一種ノ中及ビ第三條ノ  
所得ニ付テハ、是ハ所得稅法ニ依ル所得稅ヲ課セズト書イ  
テアリマス、其意味ハ内地ニ於テ所得稅ヲ課セナイ、内地ノ  
所得稅法ノ所得ハ課セナイト云フ斯ウ云フ意味デアリマ  
ス、其裏カラ申シマスレバ、樺太ニ住所ヲ持ッテ居リ、一年  
以上居住ラシテ居ルモノニハ、第二種第三種ノ所得稅ニ付  
テハ、樺太ノ方デ所得稅ヲ課スル、斯ウ云フコトニナリマス、  
ソレカラ第六條ノ方ガ矢張り此方ハ第六條ノ方デアリマス  
ルト、内地ノ方ニ住所ヲ持ッテ居リ、或ハ一年以上ノ居住ヲ  
持ッテ居ルモノノ所得デ、是ハ樺太ノ方デ今度第二種ノ所得  
トシテ所得稅ヲ課スルニ時ニハ、樺太ノ方デ第一種ノ所得  
トシテ所得稅ヲ課スルニ付テハ、所得稅法ニ依ルト云フコ  
トデ、内地ノ所得稅法ニ依ル所得稅ハ課セナイ、斯ウ云フ  
風ニ改正スル必要ガ起ッタノデアリマス、先ヅ大體左様  
ナ次第デアリマス

○荒川義太郎君 一寸此點ハ、私ハ外國人デ樺太ニ居ル者  
デ、所得稅ヲ課セラル、ト云フヤウナ者ハ、第一ニ外國人ハ  
ドシナ人デゴザイマスカ、數ト云フコトモ、外國人ノ國籍  
ヲ、ソレ等ヲ承ッテ置キタイ、第二ニハ所得稅ヲソレ等ノ者  
ニ課シテ居ル者ハドノ位アリマスカ、ソレヲ大體承リタイ  
ノデアリマス

○政府委員(小橋一太君) 目下居リマスル外國人ハ悉ク殘  
留露人デアリマス、其中人員ハ百名バカリト存ジテ居リマ  
ス、尙ホ其中デ所得稅ヲ課スル程度ノ者ハ「ナカサド」ト云  
フ所ニ居リマスル者其外一兩名デゴザイマス、別ニ取立テ  
テ申ス程ノ資産ヲ有ツモノハゴザイマセズ

○谷森眞男君 只今一寸所得稅法ヲ調ベテ居リマセヌガ、  
此第四條ノ今度改正ニナルノハ、詰リ臺灣又ハ樺太ト云フ  
ノデ、臺灣ト樺太ト同ジヤウニナルノデアリマスルカ、ソレ  
ニ付テ國籍ヲ有セザル者ハ資産營業又ハ職業ヨリ生ズル所  
得ニ付テハ、所得稅法ノ第十八條第六號ノ規定ヲ適用セズ  
ト云フノデ、此ノ所得稅法ヲ施行スルト云フコトニハナル  
ガ、稅法、所得稅法ノ第十八條第六號ノ規定ヲ適用シナイト  
云フ、斯ウ云フコトニナルデアアラウト思ヒマス、サウナルト  
是ガドウ云フ風ニナルノデゴザイマスカ、マダ所得稅法ヲ  
能ク見テ居リマセヌカラ、……如何デゴザイマスカ

○政府委員(松本重威君) 此ノ所得稅法第十八條第六號ノ  
規定デ申シマスモノハ、日本ノ國籍ヲ持ッテ居ラナイ人、即  
チ外國人ガ外國ニ於テ得ル所ノ所得ニハ所得稅ヲ課セナイ  
ト云フ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、大變面倒ナコトニ  
ナリマスガ、之ヲ茲ニ申上ゲマスルト云フト、外國人ト雖モ内  
地ニ於テ得ル所得ニ付テハ、所得稅ヲ課スルコトハ申ス迄  
モナイコトデアリマス、併ナガラ、イヤサウデハナイ、モウ  
少シ申上ゲマス、内地デアレバ内地ニ於テ得ル所得ハ勿論  
外國ヨリ、外國ニ於テ得ル所ノ所得ニ對シテモ所得稅ヲ課  
スル、例ヘバ印度デ護護ノ栽培ヲヤッテ、之ガ大變所得ガア  
ルト云フコトニナリマスレバ、矢張り日本ノ所得稅法ヲ適用  
シマシテ、サウシテ其ノ外國ヨリ生ズル所ノ所得ニモ所得  
稅ハ課シテ居ルノデアリマス、併ナガラ今申上ゲル通り内  
地ニ住ンデ居ル外國人デ、内地ヨリ生ズル所得ナラハ所得  
稅ヲ課スルケレドモ、外國人ガ外國ニ於テ得ル所得ニ付テ  
ハ、所得稅ヲ課スル必要ハアルマイト思ヒマス、一例ヲ申セ  
バ英吉利ノ宣教師ガ日本ニ居ル、而シテ其宣教師ガ英吉利  
ニ如ク持ッテ居ルトカ、或ハ工場ヲ持ッテ居ルトカシテ、ソ  
コデ所得ヲ生ズルカラト云フテ、日本ノ所得稅法ヲ適用シ  
テ、ソレ迄課スルト云フコトハ無理デアル、斯ウ云フ考ヲ以  
チマシテ、外國人ノ外國ニ於ケル所得ニ對シテハ、所得稅ヲ  
課セナイト云フコトヲ、此第十八條ノ六條ニ規定シテ居ル  
ノデゴザイマス、而シテ其外國ト申シマスルノハ、所得稅法

○荒川義太郎君 一寸此點ハ、私ハ外國人デ樺太ニ居ル者  
デ、所得稅ヲ課セラル、ト云フヤウナ者ハ、第一ニ外國人ハ  
ドシナ人デゴザイマスカ、數ト云フコトモ、外國人ノ國籍  
ヲ、ソレ等ヲ承ッテ置キタイ、第二ニハ所得稅ヲソレ等ノ者  
ニ課シテ居ル者ハドノ位アリマスカ、ソレヲ大體承リタイ  
ノデアリマス

ノ見地カラ申シマスルコト云フト、所得稅ヲ施行シナイ區域ハ矢張外國ト同様ニ見做シテ、今迄取扱テ居ルノデアリマス、嚴格ニ云フト外國ト云ハズニ、本法ヲ施行セザル地即チ所得稅法ノ外國デゴザイマス、今申上ガマスヤウナ趣意ニ依リマシテ、從來ノ稅法デ申シマスルコト云フト、内地ニ住居ヲ有シテ居ルケレドモ、權太デ所得ヲ得ルナラバ、イヤ外國人ニシテ内地ニ住居ヲ有シテ居ルケレドモ、權太ニ於テ所得ヲ得ル場合ニハ、其所得ニ付テハ内地ニ於テハ所得稅ヲ課セナカッタ、權太ヲ外國ト同様ニ見做シテ居、タノデアリマス、併ナガラ、今度ハ權太ニモ矢張所得稅ヲ課スル、所得稅法ヲ施行スルト、斯ウ云フコトニナリマシタナラバ、權太ヲ外國ニ取扱フノデナイ、權太ニ於テ生ズル所ノ所得ニ付テハ、其人ガ内地ニ居ルナラバ所得稅ヲ課スルト、斯ウ云フコトニ改正スルノデアリマス

○委員長(大久保利武君) 之ニ對スル大體ノ御質疑ハアリマスカ

○谷森眞男君 モウ一ツチヨット御尋ネラシテ見タイト思ヒマス、此第三種ノ所得ニ付テハ、大正十一年度ヨリ所得稅法ヲ適用スルコト云フノハ、此理由書ニ書イテアルニ依リマス、第三種ノ所得ニ付テ所得稅ヲ課スルニ伴フテ、内地トノ間ニ於ケル課稅ノ重複ヲ避クル爲ニ改正ヲ要スルモノデアルト、斯ウ書イテアリマスルガ、此三種ノ所得ト云フモノハドウ云フ譯デ、此十一年分ノ所得稅ヨリ適用スルコト云フコトニナルノデアリマス、四月一日ヨリハ一般ノ所得稅法ヲ施行スルト、ソレデ三種ノ所得ニ付テハ十一年分ノ所得カラト斯ウナルトチヨットソコニ少シ十一年度全部ノコトニナルンデスカ、三種ノ所得デハサウシナケレバナラヌト云フコトガアルノダラウト思ヒマスガ、御尋ネシテ見タイ

○政府委員(松本重威君) 三種ノ所得ニ付テハ十一年分ノ所得稅ヨリ之ヲ適用スルコト云フ意味ヲ申上ガマスニハ、其反對ニ第一種第二種ノコトヲ申上ガレバ、自然明瞭ニナル事デアラウト思ヒマスガ、第二種ノ所得稅ト申シマスノハ其所得ヲ支拂フ際ニ、天引シテ取ツテ了ラノデアリマス、例ヘバ公債社債ノ利子ト云フモノデアリマス、或ハ配當金ニ對スル所得稅、ソレカラ第一種ノ所得稅ハ、法人ガ事業年度ニ於テ、其計算書ヲ稅務官廳ニ提出シマシタ時ニ、稅務官廳ハソレヲ調べテ、課稅スルコトニナッテ居ルコトデアリマス、然レバ第三種ノ所得稅ニ付キマシテハ、一年分ノ所得ヲ通算シテ課稅スルコトニナッテ居リマス、第三種デモ見様ニ依テハ一年分ノ内何箇月分ト云フ所得ヲ區分調査シテ出來ナイコトモ無イノデアリマスケレドモ、先ヅ大體カラ申シマス、第三種即チ個人ノ所得ハ、一年ヲ通ジテ初メテ其所得額ガ決定スルモノガ多イコトデアリマスカラ、此法律

デ四月一日ヲ施行スルコトヲ原則ト致シマシテモ、三月以前ノ分ト四月以後ノ分トヲ區分シテ適用スルコトニ、餘程困難ナ事情ガアルノデアリマス、何時デモ此ノ所得稅法ノ改正ヲ致シマス時ニ、第三種ノ即チ個人ノ所得ニ付キマシテハ、大抵一年分ニ付テ法ヲ適用スルヤウニ從來ノ慣例ガナッテ居リマスノデ、此場合ニ於キマシテモ第三種即チ個人ノ所得ニ付テ、十一年度分即チ十一年ノ十一月カラ十二月分ニ付テ、此改正案ヲ適用スル、斯ウ云フ趣意デアリマス

○谷森眞男君 私ハモウ別ニアリマセウ

○委員長(大久保利武君) 他ニ御質疑ハ無イデセウカ

○委員長(大久保利武君) 呼フ者アリ

○委員長(大久保利武君) 付キマシテハ此明治四十年法律第二十一號中改正法律案、大正九年法律第十二號中改正法律案、此兩案ハ權太ニ關スル豫算ノ財源ニ關係ノアルモノトシテ豫算ノ決定ト同時ニ本案ガ決定ヲ要スル案ト思ヒマスカラ、只今大體ノ質疑ガ盡キマシタラ、此兩案ダケハ早く議事ヲ進メル必要ガアラウト思ヒマス、ハ分科會ノ決定並ニ豫算總會ノ決定モ今日午後アタリト云フコトデアリマスカラ、成ベク此兩案ヲ早く議事ヲ進メル方宜クハナイカト思ヒマス、此兩案ノ議事ヲモウ少シ進メテ御質疑ガ無クレバ討論ニ移ラ決定ヲ見タイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○委員長(大久保利武君) 然ラバ此兩案ニ付キマシテ、是ヨリ御質疑ガナイトスレバ討論ニ移リマシテ、議事ヲ進メタイト思ヒマス

○谷森眞男君 一案ヅ、ノ御定メニナルコトヲ……

○委員長(大久保利武君) サウ致シマス、讀會省略デ一案ヅ、決ラ探テ御贊否ヲ問フコトニ致シテ如何デゴザイマセウカ

○委員長(大久保利武君) 呼フ者アリ

○委員長(大久保利武君) 然ラバ本案ニ付キマシテ、是ヨリ御質疑ガナイトスレバ討論ニ移リマシテ、議事ヲ進メタイト思ヒマス

○谷森眞男君 格別サウ何ハアルコトデ無イカト思ヒマスカラ、一案ヅ、御決シニナリマシタラ如何デアリマスカ

○委員長(大久保利武君) 諸君ニ於テ御異議ナケレバ、谷森君ノ御意見ニ隨テ進行スルコトニシタイト思ヒマス、先ヅ明治四十年法律第二十一號中改正法律案、此案ニ付テ討論ニ移ラ決メタイト思ヒマス、諸君ノ御意見ヲ一ツ御述ベテ願フコトニ致シマス、本案ハ原案通リデ御異議ナイデアリマスカ

○委員長(大久保利武君) 呼フ者アリ

○委員長(大久保利武君) 原案通リデ御異議ナイヤウニ諸君ノ御意見ヲ認メマスカラ、原案通リデ決定スルコトニ致シマス、明治四十年法律第二十一號中改正法律案、原案通リ

確定致シマシタ、次ニ大正九年法律第十二號中改正法律案、本案ニ付キマシテ御意見ヲ伺ヒマスルガ、本案ハ原案通リ、デ御異議アリマスマイカ

○委員長(大久保利武君) 呼フ者アリ

○委員長(大久保利武君) 然ラバ本案モ原案通リデ異議ナイモノトシテ、諸君ノ御意見ノ存スルモノト考ヘマシテ、原案通リ確定致シマシテ御異議ナイデスカ……ソレデハ此兩案トモ原案ノ通り決定シマシタ、續イテ議事ニ這入りマスガ、内務省所管ノ四案共ニ前同説明ガアッタ、今日ハ府縣制改正法律案ノ方カラシテ、引續キ移ルヤウニ致シタウゴザイマス

○荒川義太郎君 政府委員ニ伺ヒタイノデスカ、此間法律案ノ改正ノ要旨ヲ御廻シニナッテ其中デ見マシテモ、市町村會議員デアッテ市町村制ノ選舉罰則ニ觸レタト云フヤウナ人ハ、矢張何方ニシテ見タ所ガ縣會議員ニシテ置クノハ惡イト思フカラ、元ノ通りニ殘シテ置イタ方宜クナイカト思ヒマスガ……

○政府委員(塚本清治君) 只今ノハ御意見ト承リマスガ、提案ノ趣旨ハ市町村會議員ノ選舉權ヲ失ツタカラト云ッテ、市町村會議員ノ選舉ニ對シテ罰則ヲ設ケタイカラト云ッテ到底府縣會議員ノ資格ヲ失ハシムルコト云フコトハ正シクナイト云フ考デ、ソレデ現在ニ於テモ府縣會議員ノ選舉罰則ニ觸レテ其爲ニ府縣會議員ノ資格ヲ失ツタカラト云ッテ、當然ノ結果トシテ市町村會議員ノ資格ヲ失ハシムルコト云フコトヲシテ居ラス、ソレト同ジヤウニ矢張其觸レタ罰則、及ビ罰則ノ伴フテ居ル選舉ニ關シテ、選舉資格ヲ失ハシメル、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、提案ノ如ク選舉法ヲ改正シタイト云フ趣旨ナデアリマス

○荒川義太郎君 成程縣會議員ノ選舉ノ罰則ニ觸レタカラト云ッテ市町村會議員ノ資格ヲ失ハナイト云フ御話ガアリマシタ、ソレハ善イ惡イト云フコトモ考モノデアリマスガ、選舉罰則ニ觸レタモノヲ、一般ニ市町村會議員選舉罰則ニ觸レタト云フコトニナルト、縣會ハ宜イト云フコトニナルト、矢張罰則ヲ厲行スル上ニ於テモ、何レモ選舉ノ弊害ヲ防グ上ニ於テハ、是ハ嚴シクシテ宜イト云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、併シ其以上ハ意見ガ違フコトニナリマスカラ、質問ハ此位ニシテ置キマセウ、ソレカラシテモウ一ツ伺ッテ置キタイノハ、今度ノ規則ニ依ルト、選舉資格ヲ失張國稅ヲ元三圓ヲ、ソレヲ取ッテ今度國稅ヲ納メル者ト云フヤウニナッテ、説明ニ見エルノデアリマスガ、是ハ併シ私ハ疑問ヲ生ズルデスカ、前ニ市町村制ヲ改正シナッテ時モ矢張國稅二圓以上納ムル者トカ、現行ニナッテ居ッタノヲ取ッテ仕舞ッテ、町稅ノ負擔ヲ分任スル者ハ、詰リ所謂市公民トナルト云フコトニナ

ルト云ツテ居リマスカラ、ソレノ例カラ見テモ府縣稅ヲ納ムル者ヲ標準ニ取ラズ、國稅ヲ矢張標準ニ取ラレタト云フモノハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、詰リ市町村會議員ハ即チ市町村稅、ソレカラ縣會議員ハ府縣稅、國會議員ハ國稅、斯ウ云フ風ニナラ、明カナモノデアアル、又サウ云フヤウナ趣意ヲ御進ミニナルノデナイカト思フ、昨年市町村制改正ノ時ニサウナツテ居ル、即チ市ノ公民ト云フモノハ市稅ヲ分擔シタモノ、詰リ國稅ハ割除ニナツテ居ル、是ニ限リテソコデ進メナイノハドウ云フ譯デアリマセウカ、ソレニナルト非常ニ唯府縣稅ヲ納ムルモノト云フモノニナルト稅ガ多クナル、斯ウ云フコトニナル、併ナガラソレハ相當ナトコロデ制限ヲ付ケラレレバ、付ケラレナイコトデアアルカ、ソレガ必要トナレバ……ソレニ付テ承ッテ見タイ

○政府委員(塚本清治君) 府縣會議員選舉資格トシテモ、矢張府縣稅ヲ納ムルコトヲ以テスルガ宜イデハナイカト云フヤウナ御趣意ヲ以テ、御質問ニナツタノデアリマス、今ノ御趣意ヲ一ツノ意見トシテ私共モ立案審議ノ際ニ多ク改竄ヲ致シタ、確ニ立法上ノ意見トシテ尊重スベキモノデアアルト云フコトヲ信ジマシテ、政府ニ於テ只今提案ノ如キ改正ヲ致サムト致シマスルモノハ、必ズシモ市町村制ノ改正ノ如ク、府縣稅ヲ納ムルモノヲ以テスルノデ無ケレバ、適當ナイトハ考ヘナイノデ、市町村制改正當時ニ於テ申上ダタト思ヒマスルガ、只今モ御述べニナリマシタ通り、市町村制ノ公民權ハ、從來ハ市町村稅ヲ分任シテソノ上ニ地租ヲ納ムルカ、ソノ他ノ國稅ヲ二圓以上ヲ納ムルコトヲ要件トシテ居タ、併ナガラ現在ノ時勢ニ於テ斯ノ如キ要件デハナイ、選舉權ノ幅ガ狭イ、ヨリ以上ニ選舉權ヲ擴張シナケレバイケナイ、ソレニハドウシタラ宜イカト云フノデ、國稅及ビ地租ヲ納ムルコトヲ除イテシマツテ、市町村ノ費用ヲ分任スル、斯ウ云フヤウニシタ方適當ニ市町村公民權ヲ付與スルコトガ出來ル、市ノ如キ程度ガ最モ今日ノ時勢ニ於テ適當ナル範圍デアアル、市町村ノ自治ニ參與セシムル爲ニハ斯ル程度ノ擴張ガ宜シイト云フノデ、所謂普通選舉ト云フヤウナ所マイデ進マナイ前ニ、斯ル程度ニ於テ今日選舉權ヲ與フルガ宜イト云フ、漸次進ム所ノ擴張ノ方針ノ下ニ確定サレタ制度デアリマス、府縣會議員ノ選舉資格ニ付テモ亦漸ク以テ擴張ヲシテ行クト云フ方針ノ下ニ、今日ノ國稅三圓若クハ選舉資格トシテ十圓ヲ納ムルコトヲ必要トスルノヲ、其額ダケヲ取ッテシマツテ、而シテ國稅ヲ納ムルコトハ殘シテ置クコトガ、府縣會議員ノ選舉資格トシテ適當デアアル、縣自治行政ニ參與セシムルコトガ適當ナル選舉權ノ擴張デアルト云フ考デ、只今ノ如キ提案ニナリマシタノデアリマス、元々申上ダレマデモナク選舉權ヲ付與スルノニ、必

ズシモ團體ニ對スル納稅ヲ以テシナケレバナラヌト云フモノデモナイ、畢竟適當ナル人ニ選舉權ヲ付與スルノガ宜イノデ、サウスレバ縣内ニ於テ國稅ノ多寡ハ暫ク措イテ、國稅ヲ納ムルコト云フ程度ノ者ニ選舉權ヲ與ヘルノガ適當デアルト考ヘテ、此提案ノ如クナツタ譯デアリマス

○笠井信一君 只今ノ問題ニ關係ノアルコトデスガ、若シ之ヲ府縣稅ヲ納ムルモノトシテ選舉權者ヲ數ヘテ見マシタナラバ、大凡ソノ位ニナルカト云フコトノ御調ベガアリマスタラバ、御示シテ願ヒマス

○政府委員(塚本清治君) 府縣稅ヲ納ムル者ニシテ、獨立ノ生計ヲ營ム二十五年以上ノ男子ト云フコトニナリマス七百二十餘万人程ノ員數デアリマス

○笠井信一君 從來是ハ國稅資格ヲ以テ今日マデ來ッテ居リマスルガ、之ヲ尙ホ維持シヤウト云フ御考ノヤウデアリマスガ、先程來ノ御說明ヲ見マスルト、極不分明ニ私ニハ聞エマシタガ、其適當ト云フノハ、餘リ急激ニ變化ヲサセナイ方ガ宜シカラウト云フヤウナ意味合ノコトデスカ、モウ少シ適當ト云フ言葉ヲ碎イテ御話下スタラバ、ドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(塚本清治君) 從來國稅三圓若クハ十圓ト云フモノヲ、選舉若クハ被選舉權資格ト致シテ居リマシタノヲ、其額ノ三圓十圓ヲ除クコトガ、漸次進ム一ツノ方法デアアル而シテ其結果ガ數ニ於キマシテモ、數ノミヲ目的ト致シタ譯デアリマセウケレドモ、數ニ於キマシテモ現在ノ選舉有資格ガ二百七十餘万人程アルノガ、丁度只今ノ提案ノ如キ資格ニ致シマスレバ、五百三十餘万人ト云フコトデアリマシテ、比例デ申シマスルト云フト、一ト「ポイント」九ニナルト云フ譯ニナリマス、若シ先刻申上ダマシタ府縣稅ノ納稅ヲ以テ資格ト致シマスルト云フト、七百二十餘万デアリマシテ、一ト「ポイント」六ト云フ風ニ數カラ申シマシタリモ非常ニ一時ニ選舉權者ガ増加イタシテ參リマス、數ノミヲ標準ト致シマシタノデアリマセウケレドモ、數カラ申シマシテモ丁度適當ナル擴張ノ程度ダト考ヘル譯デアリマスタ

○笠井信一君 是ハ一應斯ウ云フ工合ニ、順序ヲ追ッテ先ヅ相當トシテ行クト、斯ウ致シマスルト、詰リ或機會ニハ漸次之ヲ府縣稅ニ御改正ニナラウト云フ御考ヲ有テ居リマスタノデスカ、如何デアリマスカ

○政府委員(塚本清治君) 只今ハ提案ノ如キガ適當ト思ヒマスルガ、社會ノ變遷ト時勢ノ進運ニ應ジテ、漸次擴張シテ行カナケレバナラヌト考ヘマス、ソレ故ニズツト後ニナリマシタナラバ、改正案ノ如クデナシニ、他ノ標準ヲ擴張ノ標準ニ求ムルコトモアルノデアラウカト思ヒマスルガ、チヨット

只今ソレ等ノコトハ何トモ申上ダレマセウカ

○笠井信一君 此四條ノ方ノ選舉區ヲ分ケテ數選舉區ト爲スト云フコトハ、是ハ數ガ多クナツテ參リマスルト云フト、餘程便宜ナ方法デアラウカト考ヘマスガ、内務省ノ御見込ハ大凡何箇所位アル御見込デセウカ、其邊ガ今御分リニナリマセウカ

○政府委員(小橋一太君) 選舉法ヲ設ケルニ付テハ其地方ノ事情ニ依ッテヤリマスルカラ、豫メドレダケト云フコトハ今ハキリ申サレマセウカ、唯御參考ニ申上ダケテ置ケバ選舉區總數ガ六百三十九ノ中デ、現在ノ制度ノ下ニアリテハ、有權者一万以上ノ選舉區ハ十四アルノデス、今度選舉權ヲ擴張シテ改正シタ結果ヲ推定イタシマスレバ百九十七、非常ニ一万以上ノ選舉區ガ多クナルカラシテ、ソレデ之ニ應ジテ自ラ其地方ノ實狀ニ依テ選舉區設定ノ必要ヲ求メテ來ルデアラウト思ヒマス、ソレデ一万以上ノモノ全部ト云フ譯ニハ行カヌカモ知レヌガ、ソレハ其地ノ選舉競爭ノ狀態、或ハ地形ノ關係、地理上ノ關係トカ云フヤウナコトヲ、考慮シテ定マルコトトナルダラウト思ヒマス

○政府委員(塚本清治君) 明日マデニ拵ヘテ差上ダマス

○荒川義太郎君 ンレカラモウ一ツハ序デニ、東京市ノ市會議員ノ一級ト二級ト、各選舉區ニ付テノ數ヲ承知シタイ、是モ御一緒ニ願ヒタイ、是モドウカ書付ニシテ御一緒ニ願ヒタイ

○政府委員(塚本清治君) 只今ノハチヨット此六月ガ選舉デ……

○荒川義太郎君 然ラバ是マデノデ宜シウゴザイマス、三級選舉ノデモ宜シウゴザイマス、ドウカ願ヒタイ、ソレカラ序デニチヨット同ッテ置キマスルガ、之ニ關係シテ郡制ニ伴フノハ、勅令ヲ以テ其施行期日ヲ極メラレト云フコトニナツテ居リマスルガ、是ハ何時頃ニ施行ニナル御見込デアリマスルガ、ソレカラ此法律ノ何ニ、但書ニ依ルト云フト、第二條ニ關スル方ハ期日施行前ニ期日ヲ定ムルコトヲ得ルト云フコトガアリマスルガ、斯ウ云フコトモアリマスガ、之ニ關係シテ伺ッテ見タイノデアリマス

○政府委員(松本重威君) 郡制廢止ノ法律ハ、只今ノ所來年ノ四月一日カラ施行スル、之ニ先、テ或府縣ニ於テハ、郡制ヲ一ニ廢止シテモ宜シイト云フコトニナツテ居リマスガ、

只今ソレ等ノコトハ何トモ申上ダレマセウカ

○笠井信一君 此四條ノ方ノ選舉區ヲ分ケテ數選舉區ト爲スト云フコトハ、是ハ數ガ多クナツテ參リマスルト云フト、餘程便宜ナ方法デアラウカト考ヘマスガ、内務省ノ御見込ハ大凡何箇所位アル御見込デセウカ、其邊ガ今御分リニナリマセウカ

○政府委員(小橋一太君) 選舉法ヲ設ケルニ付テハ其地方ノ事情ニ依ッテヤリマスルカラ、豫メドレダケト云フコトハ今ハキリ申サレマセウカ、唯御參考ニ申上ダケテ置ケバ選舉區總數ガ六百三十九ノ中デ、現在ノ制度ノ下ニアリテハ、有權者一万以上ノ選舉區ハ十四アルノデス、今度選舉權ヲ擴張シテ改正シタ結果ヲ推定イタシマスレバ百九十七、非常ニ一万以上ノ選舉區ガ多クナルカラシテ、ソレデ之ニ應ジテ自ラ其地方ノ實狀ニ依テ選舉區設定ノ必要ヲ求メテ來ルデアラウト思ヒマス、ソレデ一万以上ノモノ全部ト云フ譯ニハ行カヌカモ知レヌガ、ソレハ其地ノ選舉競爭ノ狀態、或ハ地形ノ關係、地理上ノ關係トカ云フヤウナコトヲ、考慮シテ定マルコトトナルダラウト思ヒマス

○荒川義太郎君 明日マデニ拵ヘテ差上ダマス

○荒川義太郎君 ンレカラモウ一ツハ序デニ、東京市ノ市會議員ノ一級ト二級ト、各選舉區ニ付テノ數ヲ承知シタイ、是モ御一緒ニ願ヒタイ、是モドウカ書付ニシテ御一緒ニ願ヒタイ

○政府委員(塚本清治君) 只今ノハチヨット此六月ガ選舉デ……

○荒川義太郎君 然ラバ是マデノデ宜シウゴザイマス、三級選舉ノデモ宜シウゴザイマス、ドウカ願ヒタイ、ソレカラ序デニチヨット同ッテ置キマスルガ、之ニ關係シテ郡制ニ伴フノハ、勅令ヲ以テ其施行期日ヲ極メラレト云フコトニナツテ居リマスルガ、是ハ何時頃ニ施行ニナル御見込デアリマスルガ、ソレカラ此法律ノ何ニ、但書ニ依ルト云フト、第二條ニ關スル方ハ期日施行前ニ期日ヲ定ムルコトヲ得ルト云フコトガアリマスルガ、斯ウ云フコトモアリマスガ、之ニ關係シテ伺ッテ見タイノデアリマス

○政府委員(松本重威君) 郡制廢止ノ法律ハ、只今ノ所來年ノ四月一日カラ施行スル、之ニ先、テ或府縣ニ於テハ、郡制ヲ一ニ廢止シテモ宜シイト云フコトニナツテ居リマスガ、

今郡制廢止後ノ始末ニ付キマシテ、各府縣カラ知事ノ意見ヲ徵シテ、之ニ基イテ内務省ニ於テ調査ヲ致シマシテ、郡制廢止ニ關スル法律ニ依リマシテ、内務大臣方關係議會ニ諮問スルコトニナリテ居リマス、其諮問案ノ調査中デアリマスカラ、一般ノ廢止ニ先ツテ或府縣ニ於テ先ツ廢止スルカ否カハ、テヨット只今ノ所見込ハ立ッテ居リマセヌ

○荒川義太郎君 此大體、テヨット伺ッテ見タイノデスガ、今笠井君カラシテ御話シサレタ、此四條ノ選舉區ヲ分ッテ數選區ト爲スコトヲ得ルコト云フコトノ精神ヲ、一ツ承ッテ見タイノデスガ、是迄テヨット何デスカ、是迄前ニアツタデスガ、大體骨子ノ所ヲ一ツ承ッテ置キタイ

○政府委員(小橋一太君) 此選舉區ヲ設ケルコトニ付テノ理由ハ、實ハ説明ノ際大體ハ申上ゲテ置キマシタガ、先刻數ノ御尋ネモアリマシタガ、第一此度ハ選舉有權者ノ數ガ今日ニ倍加スルト、從ッテ選舉區ノ選舉有權者ノ數モ多クナルモノガ多數出來ル、即チ從來ハ一選舉區ニ一萬以上ノ選舉有權者ヲ有シタル選舉區ハ、十四アツタノデアリマス、改正ノ方ハ百九十七、十倍以上ニナルノデアリマス、數ノ上カラ見テモサウ云フ風ニ見エリシ、ソレカラ一面ニ於テ此選舉ノ便利ヲ計ルト云フ點カラ見テ、是ハ區ヲ分ッテ方宜クハナイカ、競争ノ激甚ナルニ付テモ、選舉區ヲ適當ニ分ッテ方、競争ノ方モ避ケルコトガ出來ルシ、ソレカラ選舉費用モ節約スルコトガ出來ルシ、其他選舉界ノ手續上ヨリ便宜ヲ得ルコトガ少カラズノデアリマス、カラ、大體サウ云フ趣旨ノ下ニ、選舉區ノ必要ニ應ジテ、其實情ニ應ジテ設ケテ、其途ヲ開イタノデアリマス、極ク大體中セバ其通りデアリマス、尙ホ御尋ネガアリマスレバ……

○谷森眞男君 チヨット私モ此數字デアリマスガ、此選舉區ヲ分ツ場合ニ付テ、必要ノ規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマス、ソレノデ、此勅令ハドウ云フ風ナ意味ニナリマスガ、凡ソ今日モ御腹案方出來テ居ルノデハナイカト考ヘマスカラソレヲ御示シテ願ヘバ大キニ分ルコトガアルト考ヘマスガ今ゴザイマセウカ

○政府委員(石坂豊一君) 只今ノ御尋ネノ、普通ノ選舉區ヲ小分シテ、更ニ數選舉區ト致シマスル場合ノ勅令案ハ、只今案文ハゴザイマセウケレドモ、是ハ其場合ニ於テ普通ノ選舉區ナラバ、選舉長ハ郡長ガ之ニ當ルト云フヤウナコトガ、選ビハ着キマスノデアリマス、ガ、郡ヲ數選舉區ニ分ッタ時ニハ、一體選舉長ヲ誰ニスルカ、其選舉場ヲドウスルカト云フコトヲ、勅令方規定スル譯デアルノデアリマス、

○谷森眞男君 此選舉區ヲ數區ニ分ッテ云フコトニ付テハ、府縣知事方府縣會ノ議決ヲ經テ、内務大臣ノ許可ヲ受ケルコト云フコトニナリテ居リマスガ、先ツ大體一萬ナンボ以上位

ノ所トカ何トカ云フ、凡ソソコニ内規方存スルコトデハナイカ知ラスト思ヒマス、隨分是ハ選舉ノ便利ト云フ方カラ云ヘバ便利カモ知レマセヌ、併シ又之ガ爲ニ此場所ニ於テ其郡ニ多數ノ選舉人ヲ被選舉人ガアル所デ、政黨ノ關係ナドガ一ツニ極ッテ居ルヤウナ場合ハ、トモ少數ノ政黨者ハ出ラレナイト云フ譯ニナルノデアリマス、其選舉區ニナツタ小サクナルト……ソレハモウ此衆議院ノ小選舉區ニナツタノデ餘程分ッテ居リマス、ソレデ一方ニサウ遠方迄行カヌデ選舉ガ出來ルコト云フコトノ便利ハアリマスガ、又一方ニハサウ云フ不便ヲ感ズルコトガ餘程アリマスガ、又一方ニハ、其邊ハ先ツ一切御構ヒナシト云フ譯デアリマセウカ、ソレヲ一ツ御尋ネヲシテ見タイ

○政府委員(小橋一太君) 只今ノ御尋ネハ御尤モノヤウニ考ヘマスガ、唯之ニ付テ標準若シクハ内規ヲ作ル事ハ、餘程困難デアラウト思ヒマス、ソレハ、各地各様ノ事情モアリマス、ソレノデ、其府縣知事ノ見ル所、府縣會ノ見ル所ニ依テ、其實情ニ依テヤラレナケレバナラヌト考ヘルノデゴザイマス、先刻モチヨット申上ゲタヤウニ、一萬以上ノ有權者ヲ有スル所ガ百九十七ト云フヤウナ多數ニ上リマス、ソレノデ、衆議院議員選舉ノ際ノ如キ、此一萬以上ノ有權者ヲ有シタル選舉區ハ七十七デアリマシテ、其結果ト致シマシテ、二日ニ亘ッテ夜通シヤッタト云フヤウナ所ガ、十六モ出來タヤウナ次第デ、是等ハ非常ニ其事務ノ取扱ヒノ關係上、餘程無理ヲ致シマス、選舉界等ノ弊害モ出來ヌト限リマセヌノデ、成ルベク避ケタイト云フコトモアリマス、ソレノデ、百九十七モ一萬以上ノ所ガアレバ、起ッテ來ルダラウト思ヒマス、ソレデ一萬以下ノ分モ地理ノ關係等ニ依テ又ハ交通ノ不便ト云フヤウナ種々ノ關係モアルト思ヒマス、カ、一萬以下デアテモ、普通選舉區ヲ分ッテヤツタ方ガ、總テノ點ニ於テ適當ト云フヤウナ場合モアリマセウト考ヘマス、カラ、一律ニ内規標準等ヲ定メルコトハ、困難デハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○筈非信一君 只今ノ問題ニ關連シテモウ一應承ハッテ置キタイノデアリマス、此選舉區ヲ分ッテ云フコトニ付テハ、先程來説明ノ通り、幾多ノ事情カラシテ其結論ヲ見ルコトデアラウト思ヒマス、併シ大體ニ於テハ有權者ノ數ガ殖ヘタガ爲ニ、此問題ガ引起クノデアリマス、カラ、其幾多ノ事情ノ中ニ最重要ナ事項ハ有權者數デアラウト思ヒマス、ソレノデ有權者數ト云フモノハ多數デアッテモ、他ノ事情ノ爲ニ、或處ハ一選舉區デアリ、或處ニ於テハ數選舉區デアルト云フト、人ガ惑ヲ生ズルト思ヒマス、デアルカラ大體ニ於テ有權者數ト云フモノハ、凡ソ此位ナ處デ分ケルノデアルト云フヤウナ御示シテ願ハナケレバナラヌノデアリマス、此

原案ノ通過シタ後、サウ云フ御示シテサレ御考ハ無イデスカ

○政府委員(小橋一太君) 只今ノ御尋ノ點ハ、大ニ考慮ヲ要スベキ點デアラウト思ヒマス、此度選舉區ヲ設ケタ基ハ、人ガ殖ヘタ事ガ主デアリマス、有力ナ點デアリマシタガ、ソレデ選舉區ヲ設ケルニハ大體ニ於テ主ナモノトシテ、有權者數ヲ考慮シマシテ置カネバナラヌト思ヒマス、先程申シマシタヤウナ一律ニ一萬人ニシヤウトカ、或ハ一萬二千人ニシヤウトカ、數字ニ依ッテ標準ヲ定メルコトハ無論出來マセヌ、又例外ノ場合モアルト云フヤウナコトデアリマシテ、或諸島群島ハ遠ヒマス、只今ハ先刻言フ標準ヲ設ケナイ考デアリマス

○荒川義太郎君 此四條ハ色、御疑問モアリマスヤウデアリマスガ、私方御尋シテ見タイト思ヒマス、此小選舉區ト大選舉區トニ付テハ、此府縣議員ノ時ニ十分討論ヲ盡シテアリマスガ、ソレト府縣制トハ何程遠クダラウト考ヘマス、此選舉ノ弊害ト云フモノニ付テハ、無論誰ニシテモ成ルベク弊害ノ出來ル部分ハ避ケル、又弊害ノ起ラヌヤウニシナケレバナラヌ、尙クモ弊害ガ起リサウナコトハ、法律ノ條文等ニソレヲ成ルベク避ケテ行カネバナラヌト考ヘル、ソレニ付キマシテモ衆議院議員ノ選舉デハチヤント區ヲ分ッテ法律ニ明記シテアリマス、カラ宜シイガ、今度ノ府縣會ノハサウデ無クテ、詰リ言フト府縣知事方府縣會ノ議決ヲ受ケテ、内務大臣ノ許可ヲ受ケテ、御ヤリニナリテ居リマス、カラ、無論縣當局ニ於テ嚴正ニヤラレルカラ差支ナイヤウナモノデアリマスガ、併ナガラ此法律ガ斯ウ出來テ居リマス、ト、動モスレバ選舉干涉トカ色、ナコトガ行ハレ易イヤウニ思フ、或ハ一面カラ言ヒマス、斯ウスレバ黨派ノ關係デ是ガ宜イトカ惡イトカ云フヤウナコトモ、段々行ハレテ來ハシナイカ、又府縣ト云フモノニ於テハ無論府縣會ナドハ黨派ヲ以テヤリ得ベキコトデモ無シ、何處マデモ府縣ノ利害ニ關係シテハ、黨派ヲ成ルベク設ケラレナイヤウニスルコトヲヤツテ行カナケレバナラヌト云フ方針ヲ探ラネバナラヌコトハ勿論デアリマス、ソレ等ノ點ニ付テハ、當局ハドウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、カ

○政府委員(小橋一太君) 御尋ノ御趣意ハ御尤モト思ヒマス、殊ニ地方團體ノ選舉等ニ於テハ、出來ルダケ中央政黨ノ競争ノ弊ヲ避ケタ方宜シト思ヒマス、ソレハ併シ今日ノ實情トシテナカク、容易ニ理想ニハ達シマセヌガ、此選舉區ヲシタコトガ、將來弊ヲ生ジハセヌカドウカト云フ、御尋ノ御趣意ト存ジマスガ、是ハ利害相伴フコトハ無イカ、先キニモ度、申シマシタヤウニ、之ニ依ッテ選舉上ニ於ケル便宜ト又弊ヲ救フコトガ多少出來ハセヌカ、唯選舉區ノ分



ケ方不公平ガアルト致シマスレバ、ソレハ其時ノヤリ方ノ弊デアッテ、出來ルダケ公正ナ手段ヲ選舉區ヲ設ケテ行ケバ、此法ノ精神ハ貫徹スルト思ヒマス、標準ノコトモ段々御話ガアリマシタガ、尙ホ施行シマシタ上デ其實況等ニ依リマシテハ或程度マデ標準ヲ設ケ得ルカト思ヒマスガ、今マデノ處デハ先程申シマシタ様ニ、ドウモ一律ニ標準ヲ設ケルコトハ困難デハ無イカ、ソレハ實行上ノ問題ニ付テハ見方ニモ依リマセウガ、大體選舉ノ弊ヲ防ギ、或ハ選舉ノ便益ヲ進ムルト云フ規定デアルト考ヘテ居リマス

○委員長(大久保利武君) ソレデハ今日ハ是デ止メマシテ、後トハ明後日ノ午後一時ニ開キマス  
午後零時十八分散會  
出席者左ノ如シ

委員長 大久保 利武君  
副委員長 男爵南岩倉 具威君  
委員

子爵藤谷 爲寬君  
子爵今城 定政君  
荒川 義太郎君  
男爵平野 長祥君  
笠井 信一君  
谷森 眞男君

政府委員

樺太廳長官 永井 金次郎君  
樺太廳事務官 石坂 豊一君  
內務次官 小橋 一太君  
內務省地方局長 塚本 清治君  
大藏省主稅局長 松本 重威君